

## 植物多様性センターの「ガクアジサイの招待客」

野生のガクアジサイは、房総半島から紀伊半島、四国の太平洋岸に自生する植物です。昆虫を呼ぶために大きく発達したガクをもつ装飾花と、種子をつけるための両性花の2種類の花をつけます。梅雨の晴れ間には多くの昆虫が訪れますが、それを狙う肉食のカマキリやクモも近くで身を潜めています。花は伊豆諸島ゾーンで今月いっぱい見頃です。しばしアジサイをめぐる生き物たちの命の攻防にも目をとめてみてはいかがでしょうか？



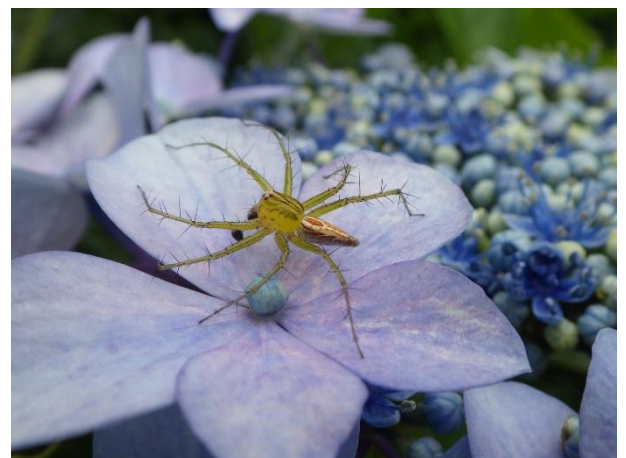
両性花をまわり、せっせと蜜と花粉を集めるセイヨウミツバチ



開花し始めの両性花を訪れた小さなホソヒラタアブ



訪花昆虫を狙う肉食のハンター、オオカマキリの幼虫



装飾花の上で獲物を待つササグモ、徘徊性のクモ